

地域防災訓練 事例集



本市では、地域の防災力の向上を図るため、市内の各自治会や自主防災組織などが実施した防災訓練のうち、特徴的な取り組みをされている情報を事例集としてまとめました。ぜひ、今後の防災訓練にお役立て下さい!!

地域防災訓練事例集

～目次～

訓練のテーマ	主催	頁
『津波避難タワー』へ逃げろ	二ツ立自治会	1
市民一斉清掃と防災の意外な関係	東宮花の森二丁目自治会	2
防災は、『地域みんなの意識』から	江南団地自治会	3
HOTELとの連携	南松小路自主防災組織	4
教職員の防災魂	宮崎第一中学高等学校	5
交流会も大事です	浜畑自治会	6
宮崎にある事業所としてできること	宮崎空港ビル危機管理室	7
敬老会・子ども会との連携	希望ヶ丘自主防災隊	8
津波浸水想定エリア外でも燃えています	正手区自主防災隊	9
はじめての防災訓練	東春田自治会	10
台風14号から10年・・・被災地の今の取り組み	生目地区自主防災連合隊	11
避難所について学ぼう	中央西まちづくり推進委員会	12
地域資源は自治会以外にもありますよ	太田北自治会	13
災害時の『サバイバル』	津屋原自治会	14
『かまどベンチ』を使ってみました	まなび野自治会	15
地域と小学校のタイアップ	内海自治会・内海小学校	16
『ダンボール』を使った避難所体験	加納地域まちづくり協議会	17
『白タオル』は何のため？	池内小学校区7自治会	18
『カートドック』は楽しくておいしいよ	東宮花の森二丁目自治会	19
避難所でウォークラリー	東大宮地域まちづくり推進委員会	20
『マンホールトイレ』組立て	江平小学校区自治会	21
自作！『ダンボールトイレ』	大塚町中区自治会	22

～用語解説～

自助、共助、公助	<p>「自助」・・・自分で自分自身や家族の安全を守ること。</p> <p>「共助」・・・隣近所や地域でお互いを助け合うこと。</p> <p>「公助」・・・行政機関による救助・支援。</p> <p>災害発生時には、地域における「自助力」・「共助力」が、非常に重要です。</p>
災害時避難行動要支援者	<p>高齢者、障害者、乳幼児等、防災において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害時の避難等に特に支援を要する方をいいます。</p>
個別避難所運営マニュアル	<p>中長期に渡る避難所生活を良好に送るための避難所ごとのルールを示したものです。本市においては、比較的大規模な避難所における避難所の開設方法や運営の心構えなどについて施設管理者や地域の方を交えて話し合い、作成しました。</p>
避難所運営図上訓練（HUG）	<p>H（hinanzyo）、U（unei）、G（game）の頭文字をとったもので、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事に対応していくかを模擬体験するゲームです。</p>
地域津波避難行動計画	<p>最大クラスの地震・津波により浸水が想定される地域が、津波到達前までに迅速かつ安全に避難できるように避難経路・避難場所などを示した計画です。本市では、それぞれの地区で津波避難行動計画を作成する際の支援を行っています。</p>

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 ニツ立自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年5月24日(白)
訓練実施場所 : ニツ立津波避難タワー(ニツ立神社内)
訓練概略 :

13時25分に地震が発生したとの想定で訓練を開始し、揺れが収まり準備ができたとの想定で13時30分から避難行動を始めました。自主防災隊員がタワー入り口ゲートを解錠して、早い人で1分後、遅い人で14分後にタワーに避難を完了しました。自主防災隊員による要支援者の担架搬送(階段)を含み、参加者は自分の避難時間を確認することができました。

★訓練風景

●避難訓練



コメント

手押し車や電動カートで一人で避難して来る高齢の方々です。このように地域の方も避難に関する意識が高いことが伺えます。

●津波避難タワーへの避難



コメント

歩けない高齢の方を特殊な担架(レスキュー・キャリーマット)でタワー階段を搬送している自主防災隊員の様子です。いざというときの頼もしさを感じました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

津波避難タワーが完成しました。住民一人一人の避難行動、要支援者に対する支援要領を確認することが必要だと考えました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

避難行動を始める時刻を設定し、サイレン吹鳴を合図としました。それまでは地震の揺れが収まるまでの時間としました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

避難行動訓練の組み立て方など要領が分らなかったため、地域防災コーディネーターと連携しながら想定などを設定しました。

4. 最後に、他の地域の方にコメントをお願いします。

津波は自分自身が逃げるのが大事です。だからこそ日頃から家族みんなで避難先などを話し合っておいてください。



ニツ立自治会

会長 鎌田 良行さま

【コメント】

今回、津波避難タワーが完成したことをきっかけに、初めてタワーを活用した訓練を実施されました。この地域は地震により発生する津波の被害が非常に懸念されている地域です。今後も地域の方々の命を守るため、訓練を続けることが大事ですね。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 東宮2丁目花の森自治会

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年6月7日(日)
訓練実施場所 : 尾ノ下街区公園、北俣街区公園、平田街区公園
訓練概略 : ○ 市民一斉清掃の機会を捉え、避難場所(公園)集合時に安否
訓練概略 : 確認(点呼)を実施
○ 一斉清掃終了後避難経路確認作業
○ 集会所を利用したのマルシェ(お茶会)開催
○ 後日、全世帯に対し、防災リュック、津波ハザードマップの配布

★訓練風景

●各世帯の集合状況



コメント
従来の市民一斉清掃に併せて、避難後の安否確認を実施するというスタイルは、より多くの方に自然と訓練を体験していただくことに繋がっていたようです。

●避難経路の確認作業の様子



コメント
親子揃って、おじいちゃんと一緒にといったように、一斉清掃終了後に幅広い年代の方が避難経路の確認をされていました。経路を示す矢印もいたる所に設置されていました。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
学校の先生をされていた、前自治会長の意向で、従来から、このようなスタイルで訓練を実施しています。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
一斉清掃と同じタイミングで実施し、終了後にお茶会を実施することが、呼び水になっていると思います。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
イベント告知の周知徹底と負担のない企画運営を心がけています。さまざまな得意分野を持った方がスタッフになっているのでいろんな輪が広がっていることを実感しています。
4. **最後に、他の地域の方にコメントをお願いします。**
地域の防災訓練に関しては、肩肘張らずに、楽しむ要素を取り入れることで、継続して実施できるのではないかと思います。



花の森自治会
片木山 和裕さま
川衛 亘さま

【コメント】

当日は、準備にお忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございました。まずびっくりしたのは参加者が多かったこととです。スタッフの皆さんの楽しそうな表情も強く印象に残っています。まさにご近助防災ですね！

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 江南団地自主防災隊

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年6月20日(土)
訓練実施場所 : 江南団地自治公民館
訓練概略 : ○地震・津波に関する防災講話
 : ○負傷者搬送訓練: 担架搬送、簡易担架の作り方
 : ○防災資機材取扱: 資機材の点検と取扱い

★訓練風景

●訓練開始前の風景



コメント
公民館の中で行われた防災講話の風景です。消防局の方を講師に招き、地震や津波の知識を学びました。あらためて防災について考えるいい機会となり、皆さん、真剣に聞き入っていました。

●演習風景



コメント
防災講話の後の搬送訓練の風景です。「向こう三軒両隣」「自分たちの命は自分たちで守る」という自助・共助の精神で、活発に訓練をされました。地域の絆を深められた1日になりました。

★主催者の声

1. **どういった経緯で実施されましたか？**
平成22年8月に自主防災隊を発足し、毎年訓練を実施していますが、今年は、5年目という節目なので、防災講話を取り入れました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
地震、津波の怖さや自助・共助・公助の考え方を学び、団地住民の絆を深め、緊急時の対応力の向上を目標に実施しました。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
超高齢化した地域住民をいかに多く訓練に参加してもらうか、毎年のことながら、頭を悩ましており、今回は防災グッズ(笛・軍手)を配布しました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
特にありません。



江南団地自治会長
自主防災隊長
松本 博俊 さま

【コメント】

自主防災隊の隊長さまの言われるように、地区住民の高齢化はこの地区に限らず一つの大きな課題となっています。このような中、江南自治会では、まずは第1に「団地住民の防災意識」を高め地区の防災基盤の底上げを目標に活動されています。いざというとき行動できる地域を目指して…期待しています！

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 南松小路自主防災組織

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年6月21日(白)
- 訓練実施場所 : 松小路自治公民館、災害時協力井戸現地、HOTELAZ宮崎佐土原店
- 訓練概略 : ○ 防災資機材の取扱訓練
(担架・発電機・折りたたみリアカー・消火器・車イス)
○ 自主防災組織の各任務分担(班)における個別訓練
(避難誘導班:津波避難ビルへの避難訓練)(救出救護班:三角巾、止血法研修)
(初期消火班:災害時協力井戸の現況調査)(給食給水班:「ハイゼックス」炊き出し)
(情報伝達班:伝言ゲーム形式により情報伝達体験)

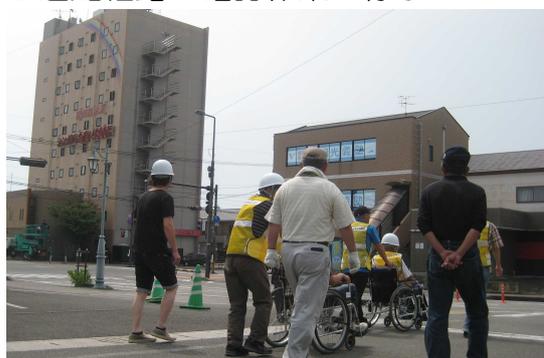
★訓練風景

●各世帯の集合状況



コメント
地元の方から地元の方へ、資機材の取り扱い・注意点などを伝えていました。「自分たちの命は自分たちで守る」という「自助・共助」の精神が浸透してきていることを実感しました。

●避難経路の確認作業の様子



コメント
車イスに乗った方を「津波避難ビル」へ避難誘導する訓練を行いました。誘導班の方は、細かい段差でも乗っている方への声かけを忘れないなど、体験をとおして確認しました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

今年地区内で新しく津波避難ビルが指定され、それを自主防
隊員へ周知することを目的の一つとして企画しました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

佐土原町域の訓練に併せて、各任務分担ごとの個別訓練を行いました。
情報伝達訓練を伝言ゲーム形式にするなど楽しさを取り入れました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

人を集めるのが、課題でした。今回は、自主防にスポットをあてて
訓練後に防災検討会を実施するなど、今後の地域防災に共通認識を
もって行動できるような訓練を企画しました。

4. 最後に、他の地域の方にコメントをお願いします。

人を集めるには、やはり訓練の中楽しさを取り入れることだと思
います。また今回は3時間みっちり訓練しましたが、訓練時間を短
くするなど、工夫も必要かと思います。



南松小路自主防災隊
隊長 堀毛 善明さま
副隊長 木田 泰生さま

【コメント】

当日は、お忙しい中、突然の取材に対応いただきありがとうございました。皆さんが楽しそ
うに訓練されていたのがすごく印象的でした。地域で実践的な防災訓練について試行錯誤さ
れている。それが地域の防災力の向上に直結しているのだなと感じました。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 宮崎第一中学高校

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年6月29日(月)
訓練実施場所 : 宮崎第一中学高校 2階ホール
訓練概略 : ○避難所運営図上訓練(HUGの実施)

★訓練風景

●訓練開始前の風景



コメント
参加人数が約100名と、これまで実施してきた中で最大規模のHUG訓練になりました。
当日はテスト期間中で、参加された先生方は午前中テスト対応でバタバタされたことと思いますが、冒頭の説明時には、皆さん熱心に耳を傾けていただきました。

●演習風景



コメント
実際の演習風景です。
演習前の事前の説明時間は約20分程度でしたが、さすがは学校の先生方！避難者への対応方法などについて、活発に議論され、会場は演習が終わるまで、熱気に包まれていました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？
1月に実施した地域の防災訓練で、このHUG訓練を知り是非、生徒にも実施したいと思ったのがきっかけです。
2. この訓練の特徴を教えてください。
事務職員を含め、全ての教職員を対象に実施したことです。
3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？
全職員向けに実施する理由として、生徒に対して実施する前に、まずは教職員が学ぶ必要があると提案してきました。
4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。
口之江良部島の噴火の際の避難行動にもあったように、災害は何時起こるかわかりません。不測の事態に対応できるようにするためには、日頃からの心構えが大事だと思います。



第一中学高校
藤満 靖徳 さま

【コメント】

今回の図上訓練は、今年1月に東宮1丁目で実施された防災訓練がきっかけになり実現しました。実際に大きな災害が発生した際に、迅速に避難者を受け入れるための心構えに繋がったのではないかと思います。担当された藤満先生におかれましては、学校を挙げての訓練の実施に向け、早くから調整いただきありがとうございました。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 浜畑自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年7月19日(日)
訓練実施場所 : 浜畑センター
訓練概略 : ○津波に関する防災講話(南消防署)
○浜畑自治会研修
○AED操作・心肺蘇生法研修
○初期消火訓練(消火器取扱い)

★訓練風景

●防災研修の様子



コメント

南消防署の職員から地震・津波に関する基礎知識を学んだ後、浜畑自治会における防災の取り組みについて相互理解を深めるための研修会を実施しました。

●AED操作研修の様子



コメント

心肺蘇生(AED操作)訓練の様子です。今回、心肺蘇生に接することが初めての方も多くいらっしゃいました。皆さん興味深く訓練に取り組んでいらっしゃいました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

毎年、防災訓練を実施していますが、今年度は防災研修会として、防災知識の向上を目的に実施しました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

いざという時にお互いに助け合いができるような関係性を築き、連帯意識を育てるため、研修会後に交流会を行いました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

私たちの自治会でも人を集めることが課題となっています。毎年異なった形で防災の取組みをしていく工夫が必要と思います。今回は、地元消防団である赤江6部に多大なご協力をいただきました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

毎年訓練を実施する中でも今年、初めて参加される方もいました。このような方も大切に、徐々に防災を根付かせていけたらいいなと思っています。



浜畑自治会長
眞鍋 雅晴さま

【コメント】

今回の研修会のために自治会長自らが準備された資料は、東日本大震災経験者のアンケートをはじめ、地域の避難所、さらには避難経路などをマッピングした地図など、とても分かりやすい資料になっていました。準備には大変ご苦労されたと思いますが確実に地域の皆様に届いていたと思います。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 宮崎空港ビル危機管理室

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年7月30日(木)
訓練実施場所 : 宮崎空港ビル
訓練概略 : ○夜間における地震津波の発生を想定した訓練
・近隣住民の避難者の受入体制の検証と確立
・避難者のための従業員(保安室警備員)の行動確認

★訓練風景

●訓練開始前の風景



コメント
避難誘導をされる方の装備・携行品装着訓練の状況です。
防災活動を実施するにあたり、まずは自分の身を守るための装備品の確認が重要です。
(ヘッドライトや誘導灯、安全ベストなど)

●演習風景



コメント
避難者を円滑に受け入れるための資機材を搬送している様子です。
これは、地震時の停電により自動ドアが開かなくなることを想定して、バール・ハンマーなどの破壊器具などを準備しているところです。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

当社は、宮崎市の要望により津波避難ビル第1号に指定され、空港周辺4自治会との合同避難訓練を既に2回実施しています。更に、夜間の受け入れ体制の確認・充実を目的に訓練を企画しました。今回が2回目となります。

2. この訓練の特徴を教えてください。

運用時間外・夜間に地震と津波が発生したとの想定で行いました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

運用時間外では、限られたマンパワーで、いかに体制を整えるかが課題です。そのためにも対応要領の周知と、各従業員、個々のスキルアップが鍵と思っています。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

今後も、津波避難ビルとして、近隣住民の方のよりどころとなるよう、防災体制の充実を目指していきます。



危機管理室長
西原 庄司 さま
危機管理専門官
柳田 隆 さま

【コメント】

津波避難ビルの指定をきっかけに昨年度に引き続き、今年度も避難受け入れの訓練を実施されており、また、独自に防災ガイドブックを作成されているなど、防災体制の充実にご尽力いただきましてありがとうございます。近隣の住民の方々はもとより、私たちにとっても大変心強く感じました。今回は取材に対応いただきましてありがとうございました。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 希望ヶ丘自主防災隊

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年8月16日(日)
訓練実施場所 : 希望ヶ丘街区公園
訓練概略 : 希望ヶ丘総合防災訓練
○自主防災資機材取扱訓練
○地震体験(起震車)
○煙体験
○消火訓練(水消火器)

★訓練風景

●煙体験



コメント
南消防署の協力の下に実施した煙体験の様子です。火災が起きた際に視界がなくなることを身をもって経験していました。

●自主防災資機材の取扱訓練



コメント
自主防災組織に配備されている資機材の取扱訓練の様子です。いざという時のために普段から資機材の使い方を知っておくことが大切です。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
災害時に「自分の命を自分で守るため」また、「近所で互いに助け合う」ことを、自治会の皆様に認識していただくため、毎年訓練を行っています。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
南消防署の協力を得て、煙体験や地震体験など、身をもって経験できるものを企画しました。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
常日頃から「自治会」「敬老会」「子ども会」の3つの組織が話し合いを行っており、今回の訓練については、各部門で連携・連絡がうまくとれたと思います。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
今回の訓練では、子ども達にたくさん参加してもらいました。将来この訓練を思い出してくれることと思います。



希望ヶ丘自治会長
岩切 照夫 さま

【コメント】

常日頃から自治会・敬老会・子ども会など世代を超えて連携されており、今回の訓練は多くの参加者がいらっしゃいました。子どもから大人まで防災意識の醸成が大切だと再認識できた訓練でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 正手区自主防災隊

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年8月23日(日)
訓練実施場所 : 正手1号児童公園
訓練概略 : ○避難誘導訓練、リアカーを活用した搬送訓練
○個別訓練
(応急手当・バケツリレー・自主防災機材取扱・ロープ結策・応急担架)

★訓練風景

●応急手当(AED)訓練



コメント
応急手当訓練の様子です。
女性消防団の方からAEDの取り扱い方法などを学びました。
こういった機会に普段から身につけておくと良いですね。

●バケツリレーでの初期消火



コメント
簡易防火水槽から目標に向けてバケツリレー(初期消火)を行っている様子です。
子どもたちにとっては、水が入ったバケツは重かったですが、友だちと力を併せて一生懸命訓練していました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

自分たちの命は自分たちで守ることを目的に、自ら、また家族で、さらには地域で、どのような避難、防災、減災対策がとれるか、訓練を通し、災害発生の前にできるいろいろな対策を考る「きっかけづくり」として企画しました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

私たちの地区は津波の浸水想定エリアには入っていませんので、倒壊家屋や火災、土砂災害を想定しました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

毎年訓練を実施していますが、より多くの参加をいただくことが課題になっています。今回は、自治会未加入の方にも老人クラブやPTAなどを通じて参加を呼びかけました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

1人でも多くの参加者をいただくために、他の地区の防災訓練をみて、アイデアを集める工夫も必要と思います。



正手区長
黒木 幸英 さま

【コメント】

当日は、猛暑の中の訓練でしたが、皆さん汗を流しながら一生懸命訓練をされていました。今回の防災訓練では、子どもたちが楽しみながら応急手当・ロープ結索などに参加していたのが印象的でした。これから未来を担う子どもたちへの防災教育も重要ですね。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 東春田自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年8月30日(白)

訓練実施場所 : 佐土原町上田島 佐土原神社

訓練概略 : 同日午前7時ごろ巨大地震が発生したとの想定で実施。各自、各家庭等から7時をもって避難行動開始。今回の避難場所とした佐土原神社に徒歩で避難する。車いすで避難する人には、自治会が事前に車いすを用意しておく。結果、約18分後に参加者68名の避難が完了した。集合チェック後、自治会長及び自主防災隊担当者が「避難行動」や「避難情報」などについて講話を行った。

★訓練風景

●徒歩避難・避難支援訓練



コメント
小雨の中、住民の皆さんが徒歩で避難場所に向かっていく様子です。車いすは自治会で準備しています。

●避難者情報収集訓練



コメント
避難者の集合チェックの状況です。安否確認につながる極めて重要なこととして、慎重に冷静に聞き取りをおこなっています。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

津波浸水想定域外ですが、河川が近くにあり、過去に冠水した箇所があるので避難訓練が必要と考えていました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

地区として初めて避難訓練をおこないました。また避難支援として自治会で車いすを準備しました。また今回の避難先は、自治会が独自に想定した避難場所としました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

雨で2度延期しました。屋外の訓練は天候に左右されること。工夫した点は様々な情報を取って車いすを準備したことです。

4. 最後に、他の地域の方にコメントをお願いします。

普段は会合などに来れない人が、防災を自分のこととして考えて参加したことが良かった。今後も様々な地区活動を通して顔を合わせていくことが地域防災の基礎だと思います。



東春田自治会
会長 工藤 昭信さま

【コメント】

当日参加された皆様には雨の振る中、大変お疲れ様でした。また企画段階では自治会長等を中心として、情報収集をして自治会で避難場所を想定したり資機材の調達などをされてます。今回、地域で話し合われたことが、地域防災の礎になると思います。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 生目地区自主防災連合隊

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年9月6日(日)
訓練実施場所 : 各自治公民館、生目地域センター
訓練概略 : ○台風(風水害)の来襲と、地震(南海トラフ地震)の発生を想定
○地域センターからの避難指示により、自宅から各地区の公民館へ避難を開始する。(自主防連合隊が整備しているエリアトークを活用)
○各自治会における避難状況を報告する。
※避難状況報告以降は、各自治会の企画する防災訓練を実施した。

★訓練風景

●エリアトークを活用した情報伝達



コメント

エリアトーク(情報伝達無線システム)は平成17年の台風14号を契機に生目自主防災連合隊が整備したのですが、無線の不感地帯もあることから、今後は「宮崎市防災メール」の登録についても住民に促していくそうです。

●避難訓練の状況(跡江)



コメント

雨の振る中、徒歩による避難を行っている様子です。
この後、公民館では自治会長から防災講話が行われ、平成17年の台風14号から10年という年月を過ぎたが、防災意識を常に持ち続けて欲しいという話をされました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

生目地区は今から10年前の台風14号で多大な被害を被りました。その翌年から生目地区全体での防災訓練を実施しており、防災意識の向上を図っています。

2. この訓練の特徴を教えてください。

通常、風水害の場合「避難勧告」の後で「避難指示」が出されますが、今回の訓練では、住民の危機意識を持ってもらうため、最初から「避難指示」を起点として避難を開始してもらったことです。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

各自治会の自主防災隊員に対し、事前訓練を行いました。訓練当日は、その事前訓練に参加いただいた自主防災隊を中心に訓練を企画、運営してもらいました。また、新興住宅地で若い世帯の皆様には、訓練として「家族での防災会議」をするようにしました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

防災について大事なものは、「地域」で理解を深め、話し合うことです。そのためには、実動訓練だけではなく、図上訓練や防災検討会を地域内で行うことも大事と思っています。



生目自主防連合隊
隊長
深田 勝廣さま



上跡江自治会
会長
日高 安久さま

【コメント】

ちょうど10年前の台風14号では、生目地区では甚大な浸水被害となりました。このときの台風被害をきっかけとして生目地区では、毎年防災訓練を行ってきています。災害から何を学ぶか。また、災害の記憶を風化させないことが大事ですね。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 中央西まちづくり推進委員会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年11月1日(日)
訓練実施場所 : 西池小学校、宮崎商業高校、南九州大学・南九州短期大学
訓練概略 : ○ 地震発生後の避難訓練
 : ○ 避難所運営マニュアル、避難所での共通ルールの理解

★訓練風景

● 西池小学校



コメント
訓練会場の一つ、西池小学校の様子です。当日は天候にも恵まれ、非常に多くの方が参加されていました。参加された方々は地区ごとにまとまり、役員さんの指示のもと、出欠確認などを行いました。また当日は、ぴーすけカードを実際に活用しての訓練も実施されました。

● 宮崎商業高校



コメント
各会場では、避難訓練完了後に役員さんの誘導のもと、地震・津波災害により中長期に渡って避難所を開設する必要が生じた際の、避難者の役割について、各担当班に分かれ学ばれました。
どの会場でも、皆さんまとまって行動されていました。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
これまでは、イベント型の防災訓練をやっていましたが、自治会の意見や、住民からのアンケート要望を踏まえ、現実に即した訓練の必要性を感じ、このようなスタイルで実施しました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
ぴーすけカードを活用したこと、訓練に避難所運営マニュアルを取り入れたことです。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
初めての手法による訓練で、試行錯誤で実施しました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
やったことがないことをやるのは大変ですが、やってみるとわからないことがわかります。何事も経験ですね。是非、一度実践してみましよう！！



生活安全部会長
鈴木 正二郎さま

【コメント】

今回の訓練は、3箇所の避難所を使用した実践的な避難訓練でした。また、特筆すべき事項として、普段なかなか立ち入ることの少ない県立高校や私立大学とタイアップして実施したということが大きな一歩であったと思います。
訓練を計画された地域安全部会の皆さんをはじめ、参加された皆さん本当にお疲れ様でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 太田北自治会

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年11月15日(日)
訓練実施場所 : 太田北地区、太田自治公民館
訓練概略 : ○ 避難訓練・防災講話(宮崎市・南警察署より)
○ 地域津波避難行動計画実地検証・検証会
○ 防災グッズ(ホイッスル、非常食梅がゆ)の配布

★訓練風景

● 避難訓練



コメント
この訓練では、自治会長の意向もあり、自治会未加入の地域の方々にもご参加いただきました。
避難訓練の開始の合図は、花火を活用するなど、住民の皆さんが迅速に避難を開始するために工夫をされていました。

● 津波避難行動計画検証会議



コメント
昨年度、モデル地区として作成した「太田北自治会地域津波避難行動計画」を検証している様子です。
避難訓練に引き続き多くの方々に参加され、互いに積極的な意見交換をされていました。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
昨年度作成された津波避難行動計画を、「地元の住民の皆さんに浸透させたい。」「より具体的な行動計画にしたい。」という気持ちで企画しました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
今回の訓練では、自治会に加入いただいている方だけでなく、未加入の地元の方々にも広く呼びかけして、参加いただいたことです。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
地域スタッフの皆様から多大な協力をいただきました。
また、参加者の皆様に防災グッズを配布しました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
地域一丸となった協力体制の構築が大切だと思います。



自治会長
清水 栄太郎さま

【コメント】

今回の訓練の特徴は、自治会長もコメントされていましたが、『自治会未加入の方々にも広く参加を要請した。』という点にありました。
いざ災害が発生した際は、自治会に未加入の住民の方々も地元を守る大きな戦力となります。そこにあるマンパワーをフルに使って地域を守ることが大切ですね。大変お疲れ様でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 津屋原自治会

★防災訓練の概略

- 訓練実施日 : 平成27年11月22日(日)
訓練実施場所 : 津屋原自治公民館
訓練概略 : ○ 避難訓練(雨天のため、今回は公民館に避難)
○ 地域津波避難行動計画の説明
○ サバイバル訓練(保温法・トイレなどの作成・食料調達について)

★訓練風景

● サバイバル訓練(保温法)



コメント
新聞紙やビニール袋を活用した体温管理(保温)の方法を学んでいる様子です。この後、訓練参加の皆さま全員が体験されていました。
いざというときに動けるようにするためには、「訓練などをとおして、事前に体験することが大事」と説明されていました。

● サバイバル訓練(トイレ作成)



コメント
災害時でも地域で調達できる物資(コンクリートブロック・竹・ブルーシート)を活用した簡易的な「トイレ」の作成方法を学んでいる様子です。
左記の保温法とともに、既成品だけに頼るのではなく、災害時でも地域で調達できるものを工夫して使うことの大切さを訴えられていました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか?
ボーイ・ガールスカウトの活動や趣味の山登りなどで私自身がこれまで経験した「野営体験」を、若い世代に受け継ぐために、「サバイバル」というテーマで訓練を企画しました。
2. この訓練の特徴を教えてください。
公的機関の応援が来るまでの3~4日間を、地域の人だけで生き延びるということをテーマとし、今回は保温の方法や就寝場所・トイレの作成方法、食料調達などを実践しました。
3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか?
子どもなどを中心に、若い世代の参加に力を入れました。
4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。
災害時は、私たちの地域に限定した話ではなく、他の地域の方々とも連携をとりながら対応していきたいと思っています。



自治会長
小野 市さま
書記
大瀬 雅裕 さま

【コメント】

今回は、地震・津波から避難ができて、命だけは助かったとの想定で訓練が実施されました。「命は助かったが、公的機関からの応援はまだ来ない・・・そのとき、地域でどのようにして生き延びていくか」という点にスポットをあてて、訓練を実施されました。自治会長さまの豊富な経験と流暢な説明で、参加された皆様も楽しんで訓練されていたのが印象的でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 まなび野自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成27年11月29日(日)
訓練実施場所 : まなび野コミュニティセンター、中央公園、県立看護大学
訓練概略 : ○ 県立看護大学ウォークラリー
○ 炊き出し訓練
○ 防災DVD上映会、応急手当訓練など

★訓練風景

●マニュアル検証作業



コメント

地域センターの職員から事前説明を受け、避難所である県立看護大で避難所運営マニュアルの検証作業を実施しました。看護大の職員の方に先導いただき、体育館をはじめ施設内をくまなく歩いて回りました。実地検証の結果、図面上で設定した項目のうち、いくつかは変更すべきとの意見も出され、有意義な検証作業になりました。

●炊き出し訓練



コメント

検証作業と同じタイミングで、地域内の公園では、炊き出し訓練が実施されました。かまどベンチで火を起こして実施する本格的な炊き出し訓練で、担当の方は煙にまかれながらも、着々と芋煮汁を準備されていました。なお、別の会場ではAEDの使用方法をはじめとした応急手当訓練も実施され、消防団の方も多数お見えでした。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
口蹄疫があった年に、夏祭りを防災訓練に切り替えたことがあり、以来、防災訓練を定期的に継続しています。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
公園のかまどベンチを使用しての従来の炊き出し訓練や、県立看護大学とタイアップしての避難所の検証作業です。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
参加者の確保のために、学校行事との調整を行い、班長、副班長には積極的に参加いただくよう要請しました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
この地域は高台のため、いかに地域で防災の話をする機会を設けるかが、防災意識の高揚の鍵だと思っています。継続して実施することが重要です。



まなび野自治会長
徳留 文夫 さま

【コメント】

当日は寒く、いつ雨が降り出すかと心配でしたが、かまどベンチの火も絶えることなく実施できてホッとしました。地域主催の避難所運営マニュアル検証作業では、看護大の方の先導のもと、参加者の皆さんが熱心に施設の利活用方法を検証されていたのが印象的でした。訓練に参加された皆さん、お疲れ様でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 内海自治会・内海小学校

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成28年1月25日(月)
訓練実施場所 : 内海地区(避難場所:堀切峠トンネル上避難場所)
訓練概略 :
10時00分にマグニチュード9、1の地震が発生し震度6強を観測、3分後に大津波警報が発令されたとの想定で、地域住民及び内海小学校の生徒等が、堀切峠トンネル上の津波避難場所へ避難しました。
避難終了後、場所を内海小学校に併設してある地域学校連携施設に移し、市危機管理課の職員を講師に招き、地震や津波の知識について、映像やクイズ形式で学びました。

★訓練風景

● 避難訓練(避難場所下からの避難の様子)



コメント
地域住民と内海小学校の生徒約100名が、国土交通省宮崎河川国道事務所が整備した避難場所へ地震発災から約10分で避難を完了いたしました。

● 避難訓練(小学生の避難の様子)



コメント
小学生たちは、学校で地震から身を守る訓練の後、防災ずきんを着用し、非常持ち出し品を持って高学年生が低学年生をサポートしながら避難所へ避難しました。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか?**
毎年、津波避難訓練は実施しているのですが、今年度に堀切峠トンネル上に避難所が新しく完成したことから、小学校と連携して避難訓練をすることとなりました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
地域住民にはサイレン吹鳴で、小学校では緊急地震速報を使いシェイクアウト訓練後に避難場所へ避難しました。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか?**
市危機管理課や地域防災コーディネーターと連携し、より現実的な訓練となるよう、小学生の防災教育に重点を置いた訓練としました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
改めて、地震・津波災害に対する防災意識の向上につながったと思います。特に、小学生については、東日本大震災の「釜石の奇跡」でもあるように、防災教育に力を入れていく必要があると思っておりますので、今後とも自治会と学校が連携した取り組みを行って行きたいと考えております。



内海自治会連合会長
原田 清 さま

【コメント】

当日は、寒空の中の避難訓練でしたが、多数の方が参加され、防災に対する意識の高さが窺えました。今回、トンネルの上部に津波避難施設が完成したことを受けて訓練を企画されました。特に今回は「地域」と「小学校」がタイアップした訓練を実施され、今後、未来を担う子ども達にとっても防災意識が高まったかと思っております。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 加納地域まちづくり協議会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成28年1月31日(日)
訓練実施場所 : 加納中学校
訓練概略 : 避難所運営体験
○自主防活動内容に関する講話
○「避難所運営体験」オリエンテーション
○防災講話(防災士ネットワーク・東日本大震災避難生活経験者)
○避難所運営体験
(受付⇒ダンボール等の搬入⇒避難スペースの作成⇒情報交換)

★訓練風景

●被災経験者の講話



コメント
東日本大震災での被災体験・避難所生活の体験談を聞いている様子です。実際に災害を経験された方のお話を聞くことができ、これから行われる避難所運営体験のイメージを膨らませています。

●避難所運営体験の様子



コメント
今回のメインテーマである避難所運営の一つである「避難スペース間仕切り作成」体験の様子です。訓練会場である中学校の生徒さんも防災教育の一環として、地域の方と協力しながら作業を行いました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

昨年、加納地区で初めて避難所運営訓練を実施しました。災害時の避難生活を体験できる稀な機会であり、非常に好評だったため、今年も同様のテーマで企画しました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

東日本大震災の経験者から避難所生活のお話が聞け、実際に自分たちで創意工夫しながら取り組みました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

会場周辺地区の方だけでなく、地域全体の参加者(特に高齢の方)の参加周知に苦慮しました。また、訓練で使用する資材(ダンボール等)の調達・処分方法も工夫しました。また、中学校の全面的なバックアップもあり、生徒たちもボランティアで参加してもらい、裏方としても活躍してもらいました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

防災というテーマは、どの自治会でも重要視されています。ただ、敷居が高いのか参加者を増やすことが何よりの課題ですが、今後は、区長さんや民生委員の方、学校等と連携して地域の方が参加しやすい方法・工夫を検討していくことが大事だと思います。



加納地域まちづくり協議会
防災部会長
大岩根 哲史さま

【コメント】

実際に災害が発生した際は、行政からの応援は行き届かない事が想定されることから、避難所を運営・切り盛りしていくのは、避難をされた方自らが行わなければなりません。訓練を企画されるにあたり、会場確保や資材調達などで大変ご苦労されたということでしたが、参加された皆様にとっては、大変貴重な経験ができたかと思えます。自分自身のため、また地域のために、今後も地域で手を取り合って防災力の向上にご尽力ください。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 池内小校区7自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日時	平成28年1月31日（日）
訓練実施場所	池内小学校、中央公園 他
当日の訓練概略	○ 地震時の安全確保、情報収集訓練 ○ 防災会議 他

★訓練風景

●避難完了を伝えるための白タオル



コメント

訓練会場周辺では、訓練が始まると同時に、避難が完了したことが周りにわかるよう、写真のように玄関先やベランダなどに白タオルをかけられていました。訓練会場では、あちこちで「お久しぶりです」の声も聞かれ、訓練が見守り活動に繋がっていることがわかりました。

●防災会議の様子



コメント

避難所である池内小学校で実施された防災会議の様子です。自治会の役員さんをはじめ、学校の先生方や、市の避難所配備職員、福祉関係者の方々等、計40名以上のみなさんが、避難所が開設された場合を想定してのマニュアルの確認などを実施されました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

高齢化の現状を踏まえ、防災訓練を活用して地域の見守り活動を行うことを目的に、毎年1月最終日曜に実施しています。

2. この訓練の特徴を教えてください。

計画を実施するにあたり、まず5ヶ年計画をたて、計画3年目に現在の7自治会での合同開催が実現しました。主な内容として避難行動要支援者の安否確認や防災会議を実施しました。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

地域の安心・安全のための見守り体制を構築するために5年という長期の目標を掲げて実施してきましたが、結果、参加自治会のみならず、関係者が一堂に会する機会ができました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

まずは目標を掲げること、そしてできることから実施すること。大事なことは、毎年継続して実施していくことだと思います。



平和ヶ丘自治会長
時任 孝俊 さま

【コメント】

会長の、「訓練を実施するにあたり、まずは明確に目標と期間を定め、できることから継続して実施していくことが重要」とのコメントが非常に印象に残りました。防災訓練が現在のスタイルになるまでの5年間、いろいろなご苦労や試行錯誤もあったのではと思います。防災会議では、関係者が一堂に集まり壮観でした。訓練お疲れさまでした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 江平小学校区自治会
中央東まちづくり推進委員会

★防災訓練の概略

訓練実施日時 平成28年2月21日（日）
訓練実施場所 宮崎東中学校
当日の訓練概略 ○ 避難所開設・運営訓練
○ 災害時マンホールトイレ設置、要配慮者避難支援 など

★訓練風景

●ダンボール間仕切り設置の様子



コメント
今回の訓練では、ダンボールにマジックテープを張り、繋ぎ合わせて4畳半の区画を10区画作る訓練を行いました。完成までに20名で10分程度の時間を要しました。
訓練を通して、長期の避難生活ではプライバシーの保護が大変重要なことであることを参加者にご理解いただけたのではないかと思います。

●マンホールトイレ設置の様子



コメント
下水道施設課の職員からマンホールトイレの仕組み等の説明を受けた後、災害時を想定して、トイレやそれを囲うテントの組み立てに真剣に取り組んでおられました。
設営中、「女性や子供たちでも簡単に作れるね！」等の声が聞かれました。これで、いざ大災害が発生した際でも仮設トイレの設営はバッチリですね。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
地震災害等の不測の事態に備えるために、近隣自治会との連携を強化し地域全体の減災に資することを目的に実施しました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
訓練の実効性を向上させるために、毎年新たな訓練項目を取り入れ、地域防災リーダーの育成に取り組んでいます。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
防災訓練を実施する前に市の出前講座を活用し、自治会役員の防災に関する知識を深め連携強化を図れるよう工夫しました。
4. **最後に、地域の方にコメントをお願いします。**
貴重な時間と経費を使って実施するのですから、実践的かつ効果的な訓練が実現できるよう、具体的な目標を立てることが重要であると考えます。



中央東まちづくり
推進委員会
長友 康憲 さま

【コメント】

主催者の声にもありましたが、事前に出前講座の依頼をいただき、40名近くの自治会関係者がお越しのなか、個別避難所運営マニュアルについての説明を行いました。出前講座が地域防災のお役に立っていることが実感でき非常に有難かったです。毎年新たなことに挑戦される姿勢には脱帽です。訓練の計画から当日の運営まで、本当にお疲れ様でした。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 東宮2丁目花の森自治会

★防災訓練の概略

訓練実施日 : 平成28年2月21日(日)
訓練実施場所 : 東宮花の森西集会所

訓練概略 : ○ 炊出し訓練
カートンドック、豚汁、ハイゼックス等
○ 応急手当訓練・初期消火訓練・応急担架作成訓練
○ 消防車両の見学
※上記ブースについて、スタンプラリー形式で実施。

★訓練風景

●受付の様子



コメント
訓練参加者に受付とスタンプラリーの台紙を配っている様子です。子ども達でもできることをしてもらっていました。

●炊出し訓練



コメント
炊出し訓練の一環として、「カートンドック」を作っている状況です。ほとんどの子ども達が、はじめての経験ということで、興味津々。目をキラキラさせて作っていました。

★主催者の声

1. **どういう経緯で実施されましたか？**
毎年、炊出し訓練を実施している中で、今回は子ども達の参加しやすさを考え、カートンドックを作成しました。
2. **この訓練の特徴を教えてください。**
スタンプラリー形式にすることで、参加された皆さんが全てのブースを体験できるように工夫しました。
3. **訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？**
訓練は、如何に人を集めるかが大事だと思います。魅力ある訓練チラシを作成し、全世帯に配布しました。
4. **最後に、他の地域の方にコメントをお願いします。**
私たちの自治会でも、訓練を行うためのノウハウはもっていません。今回行った訓練も役員の皆さんからアイデアをもらい企画しました。これからも少しずつバージョンアップして行ければと思っています。



花の森自治会
片木山 和裕さま
川衛 亘さま

【コメント】

今回の訓練は、良い意味で『ゆるさ』のある訓練内容でした。参加された皆様も、訓練運営された自治会役員の方も、皆さんが楽しみながら防災に触れていたのが印象的でした。普段の『ゆるい』連携が、災害時は互いに協力しやすい『固い』連携・『きずな』につながるんだと感じました。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 東大宮地域まちづくり
推進委員会

★防災訓練の概略

訓練実施日時 平成28年2月21日（日）
訓練実施場所 東大宮小学校、宮崎東小学校、村角自治公民館、東大宮中学校
当日の訓練概略 ○ 避難所設営及び運営訓練
○ ダンボールベッド、ダンボールトイレの展示等

★訓練風景

● 東大宮中学校での様子



コメント

東大宮中学校での避難者受付の様子です。自治会毎に受付を設け、そこに多くの方がお見えになっていました。各会場には、防災ビデオの上映や、防災クイズ、防災グッズの展示、ダンボール間仕切りの展示など、参加者に防災について考えてもらうための工夫がたくさんありました。

● 東小学校でのウォークラリー



コメント

東小学校での個別避難所運営マニュアルを活用したウォークラリーの様子です。自治会関係者、PTA役員、市の避難所配備職員といった、多職種の方が一緒になって学校のレイアウトと実際の施設を見比べながら、実際に災害が発生した際の門扉の開閉や、避難所内の導線といった内容について確認されていました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

これまで防災訓練は各自治会単位のみでやってきたが、実施が困難な所もあり、平成21年度から3年に1回のペースで、合同の大規模訓練を実施するようになった。

2. この訓練の特徴を教えてください。

「地域の見守り」体制の充実・強化を目的に、個別避難所運営マニュアルの検証作業を、複数の避難所で実施することです。

3. 訓練を計画された際に苦労したこと、工夫されたことは何ですか？

防犯・防災部会で訓練の実行委員会を立ち上げ準備しました。その際、自治会との連携を最も重視して調整してきました。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

防災訓練は、地域の絆づくりのためのきっかけであると考えています。地域の方々に「自助・共助」の重要性を理解していただくためにも、継続して実施することが大事だと思います。



東大宮地域
合同防災訓練実行委員長
山口 譲 さま

【コメント】

今回の防災訓練は、4箇所の指定避難所（小中学校・公民館）を使用しての避難所運営訓練という、過去最大規模の実践的な防災訓練でした。当日は、全ての訓練会場におじゃましましたが、どの会場でも参加者の防災意識を高めるための主催者側の創意工夫を見ることができ、大変参考になりました。

地域防災訓練の取り組み事例

実施主体 大塚地域まちづくり
推進委員会

★防災訓練の概略

訓練実施日時 : 平成28年2月28日(日)
訓練実施場所 : 大塚町中区自治公民館
当日の訓練概略 : ○避難所運営、避難所体験
○簡易トイレ(ダンボールトイレ)製作、炊き出し訓練 等

★訓練風景

●避難所での受付の様子



コメント

受付では、訓練に参加された方々への啓発のために、避難所のレイアウトが配られました。市指定避難所のため、災害時には多くの避難者が来ることが予想されます。昨年作られたマニュアルにそって避難所運営の訓練が行われました。敷地内には自主防災組織の資機材が並び、炊き出し訓練の準備も行われていました。

●ダンボールトイレ製作



コメント

大規模災害発生後の避難所生活で、まず困るのがトイレなので、トイレ製作は非常に有効な訓練内容です。今回、参加者が地区単位でまとめ、持参したダンボールを使用してトイレ製作が行われました。地区の役員の方の指導のもと、みなさん説明用の図面とにらめっこしながらも、協力して取り組まれました。

★主催者の声

1. どういう経緯で実施されましたか？

中区自治公民館は、宮崎市の指定避難所に指定されています。近年避難の必要な災害は発生していませんが、万一避難所として使用する場合の準備として、役員・自主防災隊員の避難所運営訓練を兼ねて計画しました。

2. この訓練の特徴を教えてください。

当公民館は避難者を150名収容するよう計画されています。1人当たり約畳1枚分の広さが必要とのことで、公民館で避難所生活を体験してもらいました。また、避難所で切実となるトイレを段ボールで各自作成してもらいました。

3. 訓練を計画された際に苦労した事、工夫された事は何ですか？

どんな配置でお年寄りや子ども・妊婦さんなど色々な条件のある方を1フロアーに収容するか、居住区を何人にしてブロック化しその導線をいかにするのかレイアウトに苦労しました。また、避難者の受付と避難者個人の生活ブロックの決定とその案内が大変でした。

4. 最後に、地域の方にコメントをお願いします。

地域の方には、地域に根ざした公民館を大いに活用してほしいと願っています。そして、防災訓練をはじめとした地域行事には是非参加していただきたいですね。



大塚町中区自治会長
河野 雅人 さま

【コメント】

大塚地域には、全部で8つの自治会がありますが、まちづくり推進委員会の主導のもと、全8自治会全てで防災訓練を実施されています。会場となった中区自治公民館は、宮崎市の指定避難所でもあるので、参加者だけではなく、自治会役員・自主防災隊員も避難所運営の訓練になったようです。

宮崎市防災メールの登録方法

- ◎ 配信される情報は 7 種類です。
 - ・ 緊急情報（避難所開設や避難勧告などの情報）
 - ・ 気象情報
 - ・ 地震情報
 - ・ 津波予報
 - ・ 竜巻注意報
 - ・ 市からのお知らせ
 - ・ 週間天気予報
- ◎ 宮崎市防災メールの登録・利用は無料ですが、メール受信にかかる通信料は利用者負担になります。

宮崎市防災メール配信サービス
登録用 QR コード



登録用アドレス
miyazakicity@jjjo.bosai.info

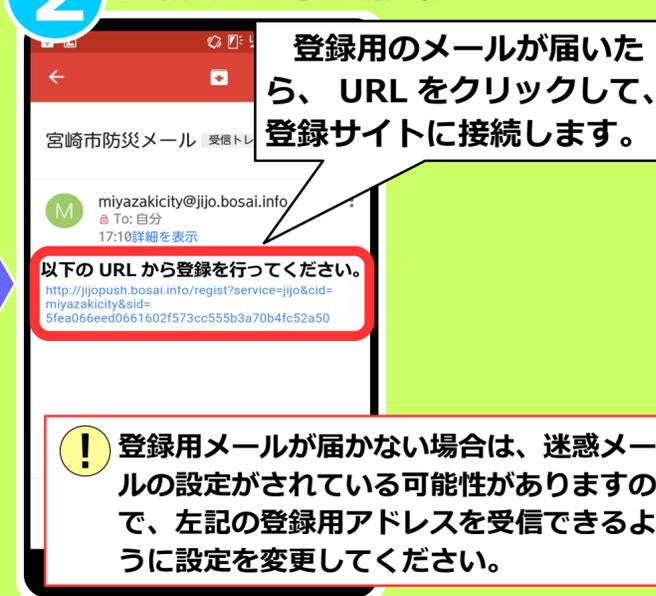
1 空メールを送信



左記の QR コードをバーコードリーダーで読みとり、空メールを送信します。バーコードリーダーがない場合は、新規メール作成から、あて先 (To) に左記の登録用アドレスを入力して送信してください。

! 件名 (Sub) や本文は何も書かなくて構いません。

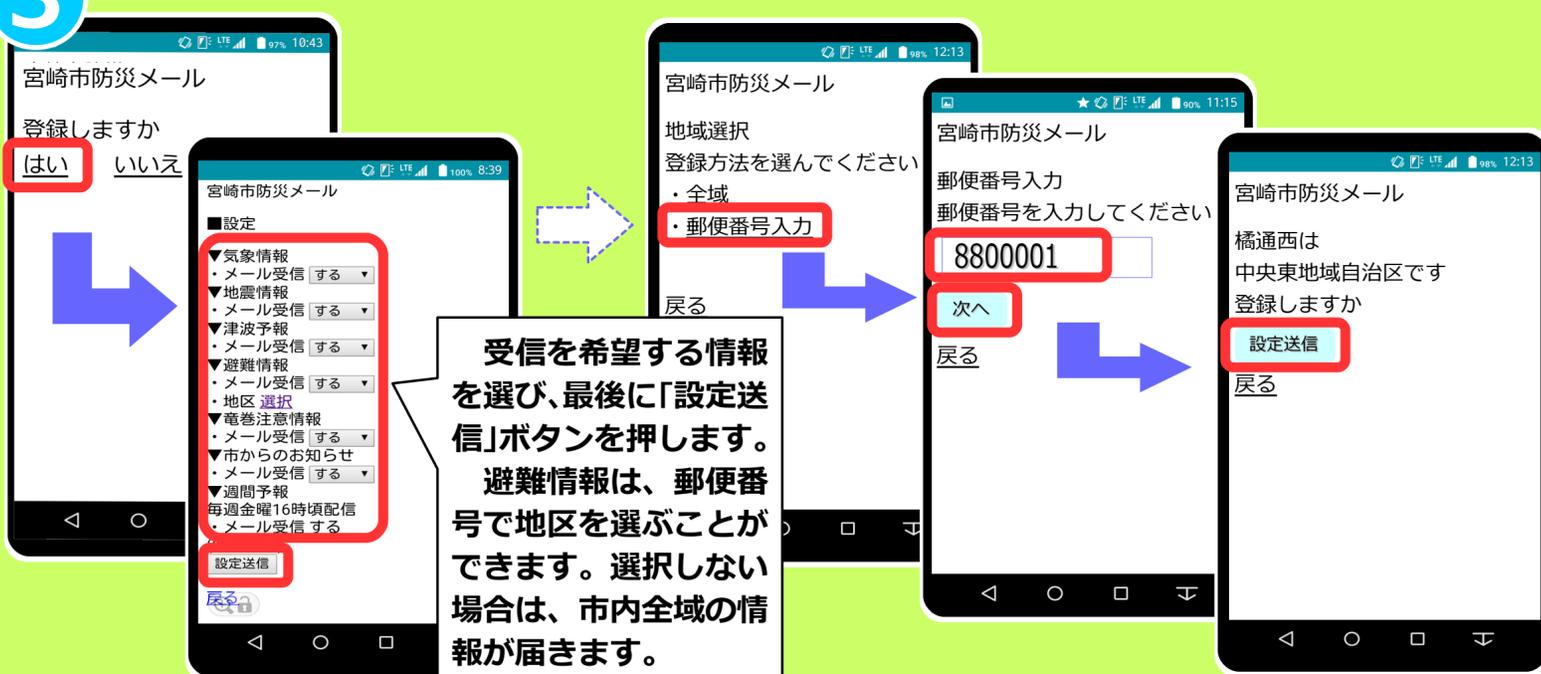
2 登録サイトに接続



登録用のメールが届いたら、URL をクリックして、登録サイトに接続します。

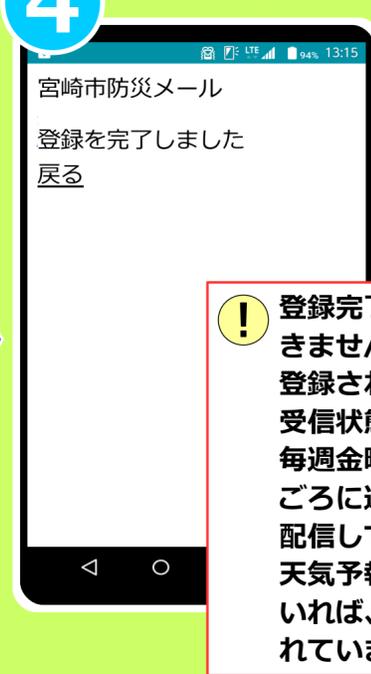
! 登録用メールが届かない場合は、迷惑メールの設定がされている可能性がありますので、左記の登録用アドレスを受信できるように設定を変更してください。

3 登録（受信する情報の選択・設定送信）



受信を希望する情報を選び、最後に「設定送信」ボタンを押します。避難情報は、郵便番号で地区を選ぶことができます。選択しない場合は、市内全域の情報が届きます。

4 登録完了



! 登録完了のメールは届きません。登録されている方には、受信状態確認のため、毎週金曜日 16:00 ごろに週間天気予報を配信しています。週間天気予報を受信できていれば、正常に登録されています。



宮崎市観光イメージキャラクター
ミッシちゃん

地域防災訓練に関するQ&A

Q1 そもそもどうして防災訓練は、必要なの？

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、これまで我が国は各地で大きな震災が発生しています。そして近い将来、宮崎市でも南海トラフ地震などの大きな地震が発生することが危惧されています。しかし、大規模災害が発生したときは、公共防災機関などによる救助や支援（公助）には限界があります。まず、災害発生時には、自分と家族は自ら守る（自助）ことから始まりますが、次の段階では、自助を支える地域住民同士による援助・助け合い（共助）が必要となります。

災害が起こったとき、防災活動を速やかに行うためには、地域の一人ひとりが正確な防災知識を持っていることが大切です。日頃からそれぞれの地域で防災訓練を繰り返し行うことで、地域全体の防災意識の高揚を図るとともに、普段からの連携を深めておくことが必要です。

Q2 防災訓練では、どのようなことをやればいいのか？

ひと言に防災訓練といっても、その内容は多岐に渡ります。地図などを用いて行う「図上訓練」、実際に行動を試みる「実動訓練」があります。図上訓練では、地域の皆さんで災害に対するイメージを膨らませ、議論を重ねることで現状を整理しながら、みんなの力で新しい課題や対策を生み出すことができます。また、実動訓練では、災害時の避難ルートを実際に歩いてみたり、消火や応急手当の方法を学んだりすることで、実際の災害が起きたときに速やかに対応できるようにするためのものです。

詳細な訓練内容の企画についてお困りの際は、下記相談窓口にご相談ください。

Q3 訓練内容がマンネリ化していて困っています。

どこの自治会もやはり同じ悩みを抱えています。この事例集の取材にご協力いただいた訓練を企画された皆さまも、「如何にして多くの参加がいただけるかが大きな課題の一つだ。」とおっしゃっていました。また参加者を増やすための様々な工夫や取り組みをされていますので、この事例集を参考にされたり、下記相談窓口にご相談ください。

Q4 みんなが参加しやすい防災訓練を企画するには？

防災訓練を企画するうえで以下のポイントに気をつけましょう。

- ①訓練の目的と目標を設定する。
- ②準備しすぎて、訓練参加の皆さんが「お客さん」になることは避けましょう。
- ③体験型、ブラインド型の訓練を企画することで、わくわく・ドキドキ感を持って参加してもらえます。
- ④企画者自らが他の地区の防災訓練に見学にいきましょう。他の地区のアイデアを取り入れるとよいでしょう。
- ⑤想定条件は、バリエーションを作っていくといろいろな人に参加してもらえます。

Q5 訓練を実施するにあたって、相談したい場合は、どこが窓口なの？

市では、下記総合支所等に「地域防災コーディネーター」を配置しており、皆さんの防災訓練の実施についてお手伝いしています。是非ご活用下さい。

防災訓練の実施や防災への取り組みについてお困りの際は、下記までご相談ください！

宮崎市	地域安全課	☎ 44-2802	FAX 25-2145
	佐土原総合支所（地域防災コーディネーター）	☎ 73-1411	FAX 73-4279
	清武総合支所（地域防災コーディネーター）	☎ 85-1111	FAX 85-1496
	高岡総合支所（地域防災コーディネーター）	☎ 82-1111	FAX 82-3779
	赤江地域センター（地域防災コーディネーター）	☎ 51-4274	FAX 55-1120
	青島地域センター（地域防災コーディネーター）	☎ 65-1231	FAX 55-4401
	櫛地域事務所（地域防災コーディネーター）	☎ 28-1111	FAX 28-1191